

バロックの花束

Vol.2

歌と古楽器で贈る初春の愉しみ

『蝶々は光の中をさまよい』

La farfallotta s'aggira al lume (ヴィヴァルディ)

『聖セシリアの日のための頌歌』より

"The soft complaining flute" (ヘンデル)

『フィッリの夜の思い』

Pensieri notturni di Filli (ヘンデル)



岡田 龍之介



長島 麻衣子

トリオ・ソナタ ニ長調 op.2-8

(ルクレール)

『クラヴサン曲集』より

修道女モニク、ティグ・トク・ショク
(クープラン)

ほか



国枝 俊太郎



加藤 久志

2026.1.17 (SAT)

16:00 開場 16:30 開演

前売 4,000円 (当日 4,500円)

ペア (前売のみ) 7,000円

今井館聖書講堂 (文京区本駒込 6-11-15)

ご予約・お問合せ / 音楽工房のあ TEL 03-3926-4370
artnoah.info@gmail.com

長島麻衣子 (ソプラノ)

東京音楽大学声楽演奏家コース卒業、同大学大学院修了。

声楽を林ひろみ、波多野睦美、ルーファス・ミュラーの各氏に師事。

ドイツのオルデンプルク、イタリアのオデルツォで演奏会やオペラに出演。

国内ではオペラに出演のほかリサイタル開催、招かれてチャペルコンサートに出演多数。

2013-2015 年、練馬区主催の寿大学で合唱クラスの講師を務めた。歌声サークル「抒情歌倶楽部」講師 (2015-2023 年)。

バロック音楽および日本歌曲を中心に活動の幅を広げている。

歌に込められた感情の機微の表現と、柔らかくて繊細な歌声に定評がある。

国枝俊太郎 (リコーダー、フラウト・トラヴェルソ)

リコーダーを安井敬、フラウト・トラヴェルソを故 中村忠の各氏に師事。

これまで東京リコーダー・オーケストラのメンバーとしてテレビ、ラジオに出演。

CD 録音にも参加する。現在はバロック室内楽を中心に幅広く活動している。

「クラングレーデ」「ムジカ・レセルヴァータ」メンバー。

加藤久志 (ヴィオラ・ダ・ガンバ)

洗足学園音楽大学・ジャズコースを卒業、同大学大学院修士課程・弦楽器コースを修了。

コントラバスを藤原清登氏に、ヴィオラ・ダ・ガンバを福澤宏、武澤秀平、小池香織の各氏に師事。

2015 年に中野哲也氏のレッスンを受講し感銘を受ける。

同年、フランスのニース夏期国際音楽アカデミーにてディプロマを取得。

マリアンヌ・ミュラー氏のマスタークラスで学ぶ。

楽器は他に、エレクトリック・ベース、コントラバスでも様々な活動を行なっている。

岡田龍之介 (チェンバロ)

慶應義塾大学、東京藝術大学卒業、藝大大学院修了。

音楽学を角倉一朗、チェンバロを有田千代子、渡邊順生、各氏に師事。

全国各地で演奏活動を行い、国内外の優れたバロック奏者との共演を通じてアンサンブル経験を深める。韓国での公演も多い。

また最近「ザロモン室内管弦楽団」や「Ars Nova 新潟」の指揮者を務める等、指揮活動にも力を注ぐ。

第 13、23 回山梨古楽コンクール審査員。

ソロ CD 「銀色の響き」(レコード芸術誌準特選盤)を始めこれまでに 11 枚の CD をリリース。

都留音楽祭講師 (～2017)、洗足学園音楽大学講師 (～2022)。

古楽アンサンブル「ムジカ・レセルヴァータ」主宰。FM 鴻巣「クラシックの散歩道」パーソナリティ。日本チェンバロ協会前会長。



今井館聖書講堂

JR山手線 駒込駅 南口より徒歩11分

南北線 駒込駅 2番より徒歩8分

都営三田線 千石駅 A4より徒歩5分

<ご予約・お問合せ> 音楽工房のあ

TEL : 03-3926-4370
artnoah.info@gmail.com